

技士会だより

④ 社団法人鳥取県土木施工管理技士会

1. 概要

本会は、昭和61年5月設立、翌年2月鳥取県知事から社団法人の認可、同月全国土木施工管理技士会へ加入、以来会員の社会的地位の向上を目指し、専門知識・能力の習得に努め、公共の福祉に寄与することを目的に活動しています。

11月27日当技士会主催の第20回建設技術発表会を開催。国土交通省、鳥取県の技術職員、並びに技士会員による日頃の研究成果を発表しました。

設立後会員数も徐々に増え、最多時の平成15年には賛助会員405社、正会員2,440名でありましたが、昨今の社会情勢の変化により、平成21年3月31日現在賛助会員258社、正会員1,540名にここ数年で激減しました。

こうした中、今年6月末から、鳥取県建設工事総合評価競争入札の評価項目に配置技術者のCPDSが認められ、入札調達公告時に当会で履歴証明書を発行する等、会員サービスの一助となり会員減少の歯止め策、との思いでありましたが、その後会員が少しずつ増え、各研修会・講習会の受講者も増加、会の基盤拡充に繋がっていただと思っています。

また、当技士会の懸案事項の一つであります公益法人改革について、全国土木施工管理技士会連合会等の動向を勘案しながら検討している状況であります。

2. 主な事業活動

(1) 研修・講習会の実施

- ①鳥取県の格付けにおける加点研修の実施（年5回10日間開催）
- ②CPDSの推進（会員の学習履歴登録及

び学習履歴証明書の発行業務）

- ③監理技術者講習の推進（年3回3会場開催）
- (2) 土木施工管理技術に関する調査・研究
- (3) 行政庁との意見交換
 - ①中四国ブロック・中国ブロックでの意見交換会
 - ②鳥取県と技術委員会との意見交換会
 - ③鳥取県県土整備部長他と女性会員との意見交換会
- (4) 土木施工管理技術の情報収集及び情報提供
 - ・ホームページ等の活用



写真-1 通常総会表彰式



写真-2 県土整備部長と女性会員との意見交換会